

国語科 3 学年の学習

1 学習の目標

- (1)社会生活に関わることなどについて、目的や場面に応じて話す能力、評価しながら聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして自分の考えを深めようとする態度を育てる。
- (2)社会生活に関わることなどについて、目的や意図に応じて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3)目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

2 学習内容

月	単 元 名	目 標	教 材 名
4	1 深まる学びへ	表現の豊かさを味わい、生き方を考える。	詩「春に」小説「握手」 論語「学びて時にこれを習ふ」
5	2 視野を広げて	さまざまな表現を捉え、ものの見方を捉える。	説明「月の起源を探る」 情報「想いのリレーに加わろう」 言葉「和語・漢語・外来語」
6	3 言葉を見つめる	言葉と心のつながりを考える。	俳句 「俳句の可能性」「俳句を味わう」 論説「批評の言葉をためる」 文法 文法を生かす
7			[硬筆] 文字を文化として認識し、意図を明確にして行書を書く
	読書生活を豊かに	名作を味わう	小説「高瀬舟」
9	4 状況の中で	状況を捉え、人の生きる姿や社会について考えを深める	詩「挨拶」小説「故郷」 論説「新聞の社説を比較して読もう」 言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」 漢字「漢字の造語力」
10	5 いにしへの心と語らう	作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす	古文「古今和歌集 仮名序」 「君待つと」「夏草」 「古典を心の中に」
11	6 論旨を捉えて	対象を評価しながら、自分の考えを広げ、深める。	論説「作られた『物語』を超えて」 話す・聞く 「話し合って提案をまとめる」 文法 品詞の識別
12			読書に親しむ
			[書き初め] 文字を文化として認識し、意図を明確にして作品を仕上げる。
1	7 未来へ向かって	言葉と心について考えを深め、今までとこれから見つめる。	論説「誰かの代わりに」 詩「わたしを束ねないで」 卒業文集
2			
3			3年間の復習（入試対策）

3 評価の方法

次の5つの観点を3段階（ABC）で評価し、その結果を総合的に判断して5段階（54321）の評定を決定します。

国語科の5つの観点	根拠となる学習内容
ア国語に関心や意欲を持ち、進んで表現し、理解しようとする。	授業の取り組み・提出物の内容・定期テストの結果
イ考えを目的や場面に応じて適切に話したり、聞いたりする。	話し合いの取り組み・聞き取りテストの結果・スピーチ・定期テストの結果
ウ考えを相手や目的に応じて適切に文章に書く。	作文課題の内容・定期テストの結果
エ目的に応じて的確に読み取ったり、読書に親しんだりする。	読解課題の内容・定期テストの結果
オ伝統的な言語文化に親しみ、語彙力が豊かで、表現技能を身に付けている。	定期テストの結果・書写の授業の取り組み

※Aの数が5つ…5、2つ以上…4 Cの数が2つ以上…2 すべてC…1

※定期テストの結果 85～90%以上の点数…A 50%以上の点数…B 40%以下…C

4 授業の約束

- ①授業前に漢字スキルに取り組む。②プリントはファイルに保管する。③言葉遣い、文字を丁寧に正しく。
④提出物の期限を守る。